



各ワーキンググループ等の開催状況について

2024年10月3日

環境省環境再生・資源循環局

中間貯蔵除去土壌等の減容・再生利用技術開発戦略検討会(第16回)
環境回復検討会(第21回)
合同検討会

(概要)戦略検討会



＜目的＞ 除去土壌等の減容・再生利用に係る技術開発戦略、再生利用の促進に係る事項等について検討を行う。

＜検討事項＞

- ① 減容・再生利用に係る技術開発戦略に係る事項
- ② 再生利用の促進に係る事項
- ③ その他、減容・再生利用技術の開発等に関して必要となる事項

＜委員名簿＞

◎座長

飯本 武志	東京大学 環境安全本部 教授
石井 慶造	東北大学 名誉教授
大迫 政浩	国立環境研究所 フェロー
勝見 武	京都大学大学院 地球環境学堂 教授
佐藤 努	北海道大学 大学院工学研究院 環境循環システム部門 資源循環材料学研究室 教授
◎高橋 隆行	福島大学 共生システム理工学類 教授 環境放射能研究所 参与
高村 昇	長崎大学 原爆後障害医療研究所 国際保健医療福祉学研究分野 教授
新美 育文	明治大学 名誉教授
宮武 裕昭	土木研究所 地質・地盤研究グループ グループ長
宮本 輝仁	農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究部門 農地基盤情報研究領域 農地整備グループ グループ長

＜戦略検討会 実施スケジュール＞

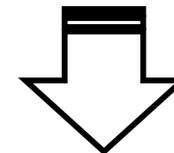
平成27年7月21日 第1回

平成27年12月21日 第2回

平成28年3月30日 第3回

平成28年6月7日 第4回

平成28年12月12日 第5回



令和5年10月17日 第15回

主な議事

- 減容・再生利用技術開発戦略に基づく取組状況について
- 今後議論すべき事項、スケジュール等について

令和6年10月3日 第16回（合同検討会） 2

(概要)再生利用WG



<目的> 再生資材化した除去土壌を安全に利用する方策について検討する。

<検討事項>

- ① 実証事業等で得られた知見の整理・評価
- ② 中間貯蔵除去土壌等を再生資材化し、安全に利用する方策の検討

<委員名簿>

◎座長

遠藤 和人	国立環境研究所 福島地域協働研究拠点 廃棄物・資源循環研究室 室長
小幡 純子	日本大学大学院 法務研究科 (法科大学院) 教授
◎勝見 武	京都大学大学院 地球環境学堂 教授
川合 敏樹	國學院大學 法学部 法律学科 教授
佐藤 努	北海道大学 大学院工学研究院 環境循環システム部門 資源循環材料学研究室 教授
新堀 雄一	東北大学大学院 工学研究科 量子エネルギー工学専攻 教授
万福 裕造	農業・食品産業技術総合研究機構 本部企画戦略本部 上級研究員
宮武 裕昭	土木研究所 地質・地盤研究グループ グループ長
宮本 輝仁	農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究部門 農地基盤情報研究領域 農地整備グループ グループ長
宮脇 健太郎	明星大学 理工学部 総合理工学科 環境科学系 教授

<再生利用WG 実施スケジュール>

令和4年8月3日	第1回
令和5年3月16日	第2回
令和5年9月5日	第3回
令和6年1月19日	第4回
令和6年4月23日	第5回
令和6年6月12日	第6回
令和6年9月17日	第7回 (技術WG・検討チーム会合との合同開催)

主な議事

- 除去土壌の再生利用基準案について
- 除去土壌の埋立処分基準案について

(概要)技術WG

＜目的＞ これまでに技術実証を通じて蓄積された減容技術等について評価するとともに、実用可能な技術を抽出し、除去土壌等の減容化システムの構築に向けた技術の組み合わせ等の検討を行う。さらに、これらの検討を踏まえ、最終処分に向けた検討を行うことを目的とする。

＜検討事項＞

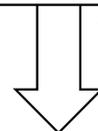
＜委員名簿＞

飯本 武志	東京大学 環境安全本部 教授
遠藤 和人	国立環境研究所 福島地域協働研究拠点 廃棄物・資源循環研究室 室長
大越 実	日本アイソトープ協会 常務理事
◎大迫 政浩	国立環境研究所 フェロー
織 朱實	上智大学大学院 地球環境学研究科 教授
勝見 武	京都大学大学院 地球環境学 教授
川瀬 啓一	日本原子力研究開発機構 福島廃炉安全工学研究所 施設安全部長
佐藤 努	北海道大学 大学院工学研究院 環境循環システム部門 資源循環材料学研究室 教授
杉山 大輔	電力中央研究所 サステナブルシステム研究本部 生物・環境化学研究部門 副研究参事
高岡 昌輝	京都大学大学院工学研究科 都市環境工学専攻 教授
竹下 健二	東京工業大学 理事副学長特別補佐(特任教授/名誉教授)
武田 聖司	日本原子力研究開発機構 安全研究センター 燃料サイクル安全研究ディビジョン ディビジョン長

- ◎座長
- ① これまで開発・実証されてきた除去土壌等の減容技術等（分級、熱処理、飛灰洗浄、安定化等）について評価するとともに、実用可能な減容技術等を抽出。
 - ② ①の検討を踏まえ、技術の組み合わせ等を検討。
 - ③ ①、②の検討を踏まえ、最終処分シナリオの検討、最終処分場の構造・必要面積の検討、放射線安全に関する検討、最終処分に係る基準の検討等を行う。

＜技術WG 実施スケジュール＞

令和4年9月12日	第1回
令和5年2月28日	第2回
令和5年9月27日	第3回
令和6年1月12日	第4回
令和6年4月25日	第5回
令和6年7月12日	第6回
令和6年9月17日	第7回 (再生利用WG・検討チーム会合との合同開催)
令和6年9月30日	第8回



主な議事

- 減容技術等の組合せ、評価等について
- 最終処分について

(概要)地域WG

＜目的＞ 除去土壌等の再生利用及び最終処分に係る地域社会における社会的受容性の向上のため、地域とのコミュニケーションや地域共生のあり方等について検討を行う。

＜検討事項＞

- ① 再生利用・最終処分の実施に係る地域とのコミュニケーションのあり方に係る事項
- ② 再生利用・最終処分の実施に係る地域共生のあり方に係る事項
- ③ その他、再生利用・最終処分に係る地域社会における社会的受容性の向上に関して必要となる事項

＜委員名簿＞

◎座長

◎佐藤 努	北海道大学 大学院工学研究院 環境循環システム部門 資源循環材料学研究室 教授
大迫 政浩	国立環境研究所 フェロー
崎田 裕子	ジャーナリスト・環境カウンセラー
勢一 智子	西南学院大学 法学部 法律学科 教授
関谷 直也	東京大学大学院 情報学環 総合防災情報研究センター 教授
泊 尚志	東北工業大学 工学部 都市マネジメント学科 准教授
保高 徹生	産業技術総合研究所 地質調査総合センター 地圏資源環境研究部門 地圏化学研究グループ グループ長

＜地域WG 実施スケジュール＞

令和6年1月17日 第1回

主な議事

- 除去土壌等の再生利用及び最終処分に係る検討状況について
- ワーキンググループにおける論点案等について

(概要)コミュニケーション推進チーム



＜目的＞ 理解醸成活動を効率的かつ効果的に実施するため、有識者や関連機関と協力して企画・実施・評価・改善（PDCA）を行いながら理解醸成活動を実施していく。

＜検討事項＞

- ① 理解醸成活動の企画・運営のあり方の検討
- ② 中間目標、戦略目標の検討

＜委員名簿＞

◎座長

大沼 進	北海道大学 大学院文学研究院 行動科学分野 教授 社会科学実験研究センター長
◎高村 昇	長崎大学 原爆後障害医療研究所 国際保健医療福祉学研究分野 教授
竹田 宜人	北海道大学 大学院工学研究院 環境循環システム部門 資源循環工学分野 資源循環材料学研究室 客員教授
万福 裕造	農業・食品産業技術総合研究機構 本部企画戦略本部 上級研究員
保高 徹生	産業技術総合研究所 地質調査総合センター 地圏資源環境研究部門 地圏化学研究グループ グループ長

＜コミュニケーション推進チーム 実施スケジュール＞

平成29年9月28日	第1回
平成30年12月10日	第2回
令和2年3月26日	第3回
令和3年2月2日	第4回
令和4年11月15日	第5回
令和5年3月8日	第6回
令和5年9月25日	第7回
令和6年3月8日	第8回

主な議事

- 今年度の除去土壌等の再生利用・県外最終処分に対する理解醸成等の取組状況等について
- 来年度の理解醸成等の実施計画（案）について

(概要)環境回復検討会



＜目的＞ 除染等の措置等に係る事項その他の当該事故により放出された放射性物質に係る除染等の措置等に係る事項について検討を行う。

＜検討事項＞

検討会の検討事項は次のとおり。

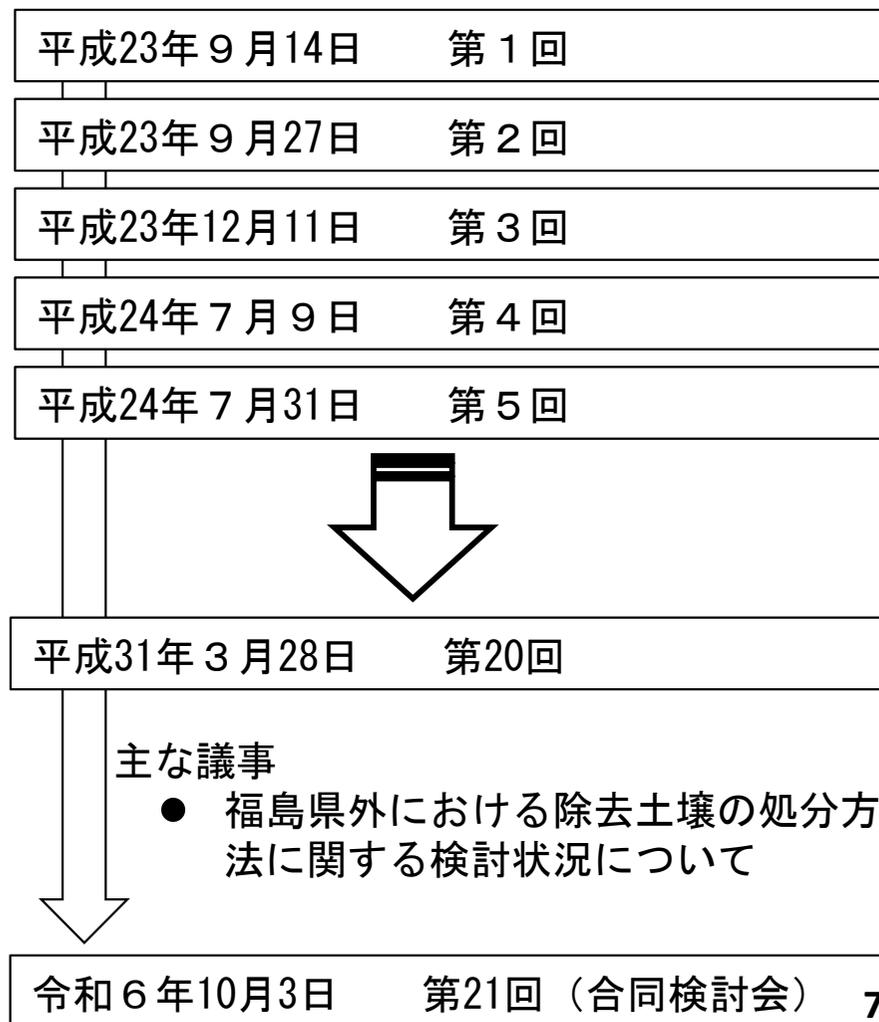
- (1) 法の規定により環境大臣又は環境省令により定めることとされた除染等の措置等に係る事項
- (2) その他の当該事故により放出された放射性物質に係る除染等の措置等に係る事項

＜委員名簿＞

◎座長

稲垣 隆司	岐阜薬科大学 名誉教授
大迫 政浩	国立環境研究所 フェロー
太田 猛彦	東京大学 名誉教授
大塚 直	早稲田大学 法学部 教授
甲斐 倫明	日本文理大学 保健医療学部 教授
崎田 裕子	ジャーナリスト・環境カウンセラー
◎鈴木 基之	東京大学 名誉教授
武石 稔	日本原子力研究開発機構 安全研究・防災支援部門 原子力緊急時支援・研修センター 防災支援研修ディ ビジョン専門研修グループ 嘱託(テクニカルアドバイ ザー)
中杉 修身	元上智大学 教授
新美 育文	明治大学 名誉教授
林 誠二	国立環境研究所 福島地域協働研究拠点 研究グ ループ長
古米 弘明	中央大学研究開発機構 機構教授
森 久起	元中間貯蔵・環境安全事業株式会社 中間貯蔵事業部 技術アドバイザー

＜環境回復検討会 実施スケジュール＞



(概要) 検討チーム会合



<目的>

除染等の措置に伴い生じた除去土壌の埋立の処分方法の考え方について検討することを目的とする。

<検討事項>

福島県外の除染等の措置により生じた除去土壌を対象として、以下の事項について検討する。

- (1) 除去土壌の埋立の処分方法における安全確保の考え方
- (2) 除去土壌の埋立の処分方法における安全確保の要素
- (3) その他除去土壌の処分に係る事項

<検討チーム会合 実施スケジュール>

平成29年9月4日	第1回
平成29年12月19日	第2回
平成30年9月3日	第3回
平成31年3月15日	第4回
令和元年12月17日	第5回
令和2年12月15日	第6回
令和4年2月24日	第7回
令和5年2月27日	第8回
令和5年12月22日	第9回
令和6年9月17日	第10回 (再生利用WG・技術WGとの合同開催)

<委員名簿>

◎座長

飯本 武志	東京大学 環境安全本部 教授
大迫 政浩	国立環境研究所 フェロー
◎甲斐 倫明	日本文理大学 保健医療学部 教授
武石 稔	日本原子力研究開発機構 安全研究・防災支援部門 原子力緊急時支援・研修センター 防災支援研修ディ ビジョン専門研修グループ 嘱託(テクニカルアドバイ ザー)
新堀 雄一	東北大学大学院 工学研究科 量子エネルギー工学専攻 教授

主な議事

- 除去土壌の再生利用基準案について
- 除去土壌の埋立処分基準案について